

第1回那覇空港調査PI評価委員会
議事概要

1 日時 平成17年6月20日(月) 14:00~16:00

2 場所 沖縄ハーバービューホテル 2階 白鳳の間

3 出席者

(1) 委員(五十音順)

琉球大学名誉教授	上間 清
弁護士	大城 浩
フリージャーナリスト	崎山 律子
琉球大学工学部教授	堤 純一郎
淑徳大学国際コミュニケーション学部客員教授	廻 洋子

(2) 那覇空港調査連絡調整会議からの参加

内閣府沖縄総合事務局開発建設部長 (幹事)	佐藤 浩孝
内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾空港指導官	酒井 洋一
国土交通省大阪航空局飛行場部次長	梅野 修一
沖縄県企画部参事	傍士 清志

(3) 内閣府沖縄振興局からの参加

内閣府沖縄振興局振興第三担当専門官	篠 良一
-------------------	------

(4) 国土交通省航空局からの参加

国土交通省航空局飛行場部計画課専門官	木原 正智
--------------------	-------

4 次第

(1) 開会

(2) 挨拶

(3) 委員及び出席者紹介

(4) 議事

議事1 委員長、委員長職務代理者の選出

資料1 那覇空港調査PI評価委員会規約

事務局より資料説明後、互選により上間委員が委員長に選任されるとともに、廻委員が委員長職務代理者に選任された。

議事2 那覇空港調査PI実施計画(案)について

資料2-1 那覇空港調査PI実施計画(素案)に対する意見及び対応方針(案)

資料2-2 那覇空港調査PI実施計画(案)

事務局より資料説明後、委員より質疑が行われた。

PIという語句が分かりにくいので表現を工夫する必要がある等の評価・助

言を受けた後、資料 2-1、2-2 が了承された。

議事 3 那覇空港の総合的な調査 PI ステップ 1 について

資料 3-1 那覇空港の総合的な調査 PI レポート(案)

資料 3-2 那覇空港の総合的な調査 PI レポート概要版(案)

資料 3-3 那覇空港の総合的な調査 PI レポートについてのご意見募集(案)

資料 3-4 那覇空港の総合的な調査 PI ポスター(案)

事務局より資料説明後、委員より質疑が行われた。

「PI レポート」の表現の工夫、アンケート調査票の見直し、管制に関する記述の追加等の評価・助言を受けた後、資料 3 - 1 ~ 3 - 4 が了承された。

議事 4 今後のスケジュール(案)について

資料 4 今後のスケジュール(案)

事務局より資料説明後、資料 4 が了承された。

(5) 閉会

5 主な発言内容(順不同)

(1) 那覇空港調査 PI 実施計画(案)について

(委員) 印刷された PI 実施計画はどこで配布するのか。

(事務局) 県のホームページでの公開や、行政情報センター等での配布を考えている。

(委員) PI を理解している人はほとんどいない。これに方言のまじった「りっか PI さな」はさらに分かりづらい。「住民参加型」という表現方法は使わないで、あえて PI を使う理由(背景)を教えていただきたい。もし使うのであれば県民に理解してもらう工夫が必要である。

(事務局) 国が示したプロセスに PI の語句があった。那覇空港の総合的な調査において「PI」を広めていきたいと考えている。「りっか PI さな」は前委員会で検討・決定した経緯がある。県民に理解してもらうよう工夫していく。

(委員) 幅広い人の意見を集めたいとのことだが、意見の収集にあたって空港利用するハンディキャップを持った人たちへの配慮はあるのか。目の不自由な人は FAX ができない。

(事務局) 配慮に欠けている部分もある。委員会のご指摘を踏まえ今後検討していきたい。

(委員) 6 p の実施スケジュールにボリューム感を出した方がよい。PI レポートの配布部数、配布場所、説明会の開催日等を記載した方がよい。

(事務局) 実施計画ではなく別の形で表現することも検討していきたい。

(委員) PI レポートの表紙では、もっと語りかけた方がよいのでは。「あなたも考えてみましょう」等はどうか。

(事務局) ポスターには「あなたの声をください」を入れている。PI レポートの

表紙も工夫していきたい。

(委員) 表紙の「もっと便利な、もっと利用しやすい」は似ている。いま求められているのは安心、安全性ではないか。

(委員) p 2 の基本方針で「収集した意見に対する対応方針を公表する」という表現があるが、みなさんからいただいた意見を、どのように計画に反映させるかについて、わかりやすいように書いた方が良いのでは。

(事務局) 参考資料になっているが p11 に、PI 実施主体が調査実施機関へフィードバックしていくということが書かれている。意見について取りまとめた段階でどのように活用していくかについては、示することができる。

(委員) 実施計画の目標が「情報の共有」となっている。PI の目標は情報を共有した後にある。表現方法を工夫してほしい。

(事務局) 双方向のやりとりを情報の共有として考えている。

(委員長まとめ)

- ・配布等や意見収集にあたってはサーキュレーション(普及率)が高まるように工夫すること。
- ・実施スケジュールについてはボリューム感がわかるようにすること。
- ・レポートの表紙の表現など、親しみのある表現にすること。

サーキュレーション：広告を伝える媒体の流布の度合。新聞・雑誌の発行部数やラジオ・テレビの普及率・視聴率など。

(2) 那覇空港の総合的な調査PIステップ1について

(委員) 「PIレポート」ではPIの結果をレポートしているように思える。本来はPIのための基礎情報ということのはず。

(事務局) これまでの成果をまとめたレポートである。これがわかるよう端的な名前にしていきたい。

(委員) 那覇空港の課題として、自衛隊や米軍との関係が私たちとの生活で関係している。それについて触れられていないのは不自然。

(事務局) 米軍と共用している空港ではない。自衛隊との関係は p6 で自衛隊民航のエリア、また、p8 では自衛隊機等の発着回数を示している。

(委員) レポートに管制の問題がない。管制についての記述があった方が良いのでは。

(事務局) 嘉手納ラプコンについては日本(航空局)へ移管される方向で手続きをしている。レポートの中で、嘉手納ラプコンの記述の追加を検討する。

(委員) PI レポートステップ1という意味は普通の人にはわからない。「那覇空港のことを、今考える時期にきている。今後、PI という手法を導入し3つの段階に分けて考えていく。今回は那覇空港の状況をまとめた1段階で、これを読んだ上で意見を下さい。」等が、「はじめに」の中で県民が分かるようにした方が良い。

(事務局) ステップ毎にやっているというプレゼンが足りなかったように思える。

4 ページにまとめているつもりであったが工夫していきたい。

- (委員) 行政側の意見が入っている。「2 本目の滑走路を整備すればよいのではないですか？」の表現などは、意見を誘導しているように思える。
- (事務局) 誘導的な記述は改めていきたい。短絡的に2 本作ればとの意見があったので、その辺りを説明するつもりで書いたのだが、ご指摘を踏まえて改めていきたい。
- (委員) 先の表現の他にも「現国際線旅客ターミナルビルを改修すればよいのではないですか？」とか、「発着の遅れは空港の混雑に原因があるのでしょうか？」など、空港機能を拡張する方向に誘導している意見が出ているが、多少表現が不適切ではないかと思う。
- (事務局) 「滑走路の増設」と「既存ストックの有効活用」は分けて考えている。滑走路の増設については手順を踏まえて検討していくのだが、既存ストックの有効活用方策、つまり、国際線旅客ターミナルビルの整備、貨物ターミナルの拡張整備、誘導路の整備等、現施設の整備や運用の改善による空港能力向上方策の検討については、出来ることは順番にやっていくこととしている。それでも空港容量が足りなければ、滑走路の増設について手順を踏まえてパブリック・インボルブメントで考えていくこととしている。その前提の説明がないので、その辺りの工夫を行っていきたい。
- (委員) 既存ストックの有効活用も全て PI に入っていると思ったのだが、それとこれは別だよというのは P I の趣旨とは違うと思う。PI で出す意見の範囲をしっかりと示して欲しい。
- (事務局) p25 に、既存施設の拡張や改良についてはその効果を見極めながら順次事業を進めていく、ということに記載している。表現が後先になっているので、PI をする上での前提がわかるように工夫を行っていきたい。
- (委員) アンケートについて、PI という趣旨が1 つも入っていない。PI レポートの出来を問うアンケートになっている。PI レポートの出来を問うのか、それとも他のことを問うのかははっきりした方が良い。
- (委員) 「あなたの声をください」ではなく、「私たちの声を聞いて下さい」になっている。もう少し伝える工夫が必要。
- (委員) レポートのボリュームに対して質問が簡単すぎるのでは。レポートに沿ったアンケートにした方が良いのではないか。
- (事務局) レポートのさまざまな側面に対し、色々な意見がきけるように工夫していきたい。アンケート以外にも意見を集めていく工夫も行っていきたい。
- (委員) 空港に関係のない人は、空港の図や利用状況を見ても、「利用しないものね」で終わってしまう。空港の役割を前にもってくることも考えた方が良い。
- (委員) レポートは意見を出したい人に、行き渡るようになっているのか。意見を述べたい方達に資料が行き渡っていて、そしてそれが一つの空港の在り方に関する意見として出てくるのであれば、それで十分だと思う。
- (委員長まとめ)
- ・レポートという名称は違和感がある。基礎情報ということがわかるようにすること。

- ・ステップ1といきなり書いてもわからない。回答する側からの立場、ゼロから情報に接するという立場でレポートをまとめること。
- ・設問については、誘導的なニュアンスもあるので改めること。
- ・目次の構成について、わかりやすいという観点から工夫すること。
- ・意見を出したいという人に情報が伝わるように工夫すること。

(3) その他

(委員) 意見を言うときは住所(市町村名まで)と名前が必要ということだが、これは名前を言うべきか、匿名とするべきか。

(委員) 誹謗中傷ではなく、まともな意見は名前を書かなくても採用すべきである。一般的な、不特定多数の意見が必要なので、名前があるないは必要ではない。

(委員) 評価委員会の評価する視点や事項をまとめておいて欲しい。実施計画のボリュームを実施したかどうか、意見を出したい県民に行き渡ったか、などは一つの評価になる。

以上